

動物管理科 昼間部 トリマーコース

1 年生シラバス



シラバス（授業計画）								
学科名	動物管理科				コース名	トリマーコース		
科目名	犬学				必修・選択必修の別		選択必修	
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2	単位
		通年	2 単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	冨澤 彩							
	実務経験	有	家庭犬しつけインストラクター、ホリスティックケアカウンセラー、ペットフーディスト、愛玩動物救命士等を取得。出張しつけ方レッスンやオンラインでの愛犬相談、					
授業概要	①犬の起源・生態・ライフサイクル。 ②畜犬団体によるグループ分け・様々な犬種の犬種特性・スタンダード・沿革。 ③犬体名称・用語・被毛・耳のバリエーションと特徴。 ④家庭で犬を飼育管理する為の基本的知識と犬種特性に合わせた管理方法。 上記の事を学び、様々な犬種への理解を深めその特徴にあった扱い方の違いを					授業形式	講義	
到達目標	犬の生態・スタンダード・犬種特性を理解し、それらに合わせた飼育方法の分析が出来る。 お客様・飼い主さまへアドバイスするための知識、適切かつ安全に犬を飼育管理をする為の基本的な知識の							
教科書・教材・服装等	「最新犬種図鑑」、「愛犬の繁殖と育児百科」、筆記用具							
授業計画	授業内容							
1・2	授業概要説明、畜犬団体、様々な犬種が生まれた経緯							
3・4	ルーツ/用途/形態によるグループ分け（各グループの特徴・属する犬種）1～3 G							
5・6	ルーツ/用途/形態によるグループ分け（各グループの特徴・属する犬種）4～7 G							
7・8	ルーツ/用途/形態によるグループ分け（各グループの特徴・属する犬種）8～10G							
9	耳・尾・被毛のカラーバリエーション							
10	歯牙、噛み合わせのバリエーション							
11	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
12	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
13	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
14	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
15	定期試験範囲の説明と対策							
16	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
17	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
18	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
19	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
20	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
21	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
22	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
23	日本犬の特徴と天然記念物指定犬							
24	犬の発情期の特徴・仔犬を産ませる動機と心構え							
25	ブリードライン・交配に適さない犬							
26	妊娠中の管理ポイント							
27	仔犬の管理と離乳・断耳・断尾・狼爪の切除について							
28	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
29	人気犬種のスタンダード・犬種特性・かかりやすい病気・飼育ポイント等							
30	総復習、定期試験範囲の説明と対策							
成績評価方法	・出席率				定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト						実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率80％以上・定期試験90点以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率60％以上・定期試験80点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率50％以上・定期試験70点以上・平常点 やや劣る						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）							
学科名	動物管理科				コース名	トリマーコース	
科目名	トリミング理論					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	2 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	木村 光太						
	実務経験	有	20年以上の実務経験を活かし、犬の基礎的な知識から実際の現場で必要になる知識を伝える事で、現場のニーズに応えた指導が出来る。				
授業概要	トリミング実習と連動して実技を行う上での座学的内容を、前もって覚えることによって実技でのデモンストレーション及び実践作業がスムーズに行えるように学ぶ。その他、トリミングを行う犬種について深く知識を取得する。					授業形式	講義
到達目標	授業内で配布されるプリントや動画配信の視聴確認、定期試験を行い、達成目標とする。						
教科書・教材・服装等	最新犬種図鑑、グルーミングマニュアル						
授業計画	授業内容						
1～2	トリマーとしての心得/ブラッシング・コーミング						
3～4	爪切り/耳掃除						
5～6	ペイジング/ドライイング						
7～8	クリッピング						
9～10	犬体/骨格名称/シザーリング基礎						
11～12	ケネル&ラムクリップについて/プードルスタンダード解説①						
13～14	ケネル&ラムクリップについて/プードルスタンダード解説②						
15～16	その他公認ペットクリップについて						
17～18	目/耳/鼻の機能						
19～20	グルーミング犬種のお手入れ						
21～22	フリンジの処理について						
23～24	接客/ペアカット						
25～26	アタッチメントコームの使い方や胴抜きやり方						
27～28	定期試験対策						
29～30	前期総復習						
31～32	SZ/MSレクチャー①						
33～34	SZ/MSレクチャー②						
35～36	SZ/MSレクチャー③						
37～38	ペットカットのバリエーション						
39～40	目/耳/鼻の病気						
41～42	飼育頭数ランキングの推移						
43～44	犬の扱い方/保定/重心移動						
45～46	様々な犬種スタッキング						
47～48	トリミング道具について						
49～50	犬の毛質について						
51～52	トリミング用語について						
53～54	定期試験対策						
55～56	1年間の総復習						
57～58	2年次のライセンスについて						
59～60	2年次実習授業の流れ/実習授業での不明点補強						
成績評価方法	・出席率				定期試験	○	筆記試験
	・定期試験結果						実技試験
	・平常点（授業態度・授業参加意欲など）						実施しない
成績評価基準	A評価	出席率90%以上・平常点 優れている・定期試験結果 上位1/3位					
	B評価	出席率70%～89%以上・平常点 普通・定期試験結果 2/3位					
	C評価	出席率50%～69%以上・平常点 やや劣る・定期試験結果 下位1/3位					
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合					

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	トリマーコース		
科目名	ドッグトレーニング					必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	単位	後期	2	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2	単位
		通年	単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	油木 真砂子							
	実務経験	有	愛玩動物看護師、優良家庭犬普及協会認定グッドシチズンテストサフジャッジ、テリントンTタッチプラクティショナー等の資格を有し、Tタッチワークショップ、しつけ教室、薬膳セミナー等日本各地で開催。訪問でのしつけ、ケアなど総合的なアドバイスをするプライベートセッションを行っている					
授業概要	犬の飼育経験がない学生も、社会に出れば経験年数に関係なく顧客からは「犬を扱うプロ」として認識される。在学中にトレーニングの基礎となる授業を展開し、その中での観察を通し、犬の行動に興味を持ち、机上での犬の扱いではない、床面での扱いや犬本来の行動などを学び、力ではなく陽性強化を用いたトレーニング方法を理解することを目的とする。					授業形式	演習	
到達目標	犬の行動観察を主とした基本的なハンドリング、生体管理、学習理論等の理解							
教科書・教材・服装等	実習着着用 各自ノート							
授業計画	授業内容							
1 ～ 3	教室出入り等授業内ルール説明と徹底（生体管理と安全管理）							
4 ～ 6	クレートからの安全な出し方、リードの持ち方、誘導の仕方							
7 ～ 9	テリントンTタッチについてと実践							
10 ～ 12	学習理論①、姿勢を作る（オスワリ、フセ、タッテ）							
13 ～ 15	安全な他犬とのかかわらせ方							
16 ～ 18	ボディランゲージとカーミングシグナルについての動画鑑賞および犬の行動観察							
19 ～ 21	お散歩トレーニングについてと実践							
22 ～ 24	クレートトレーニングについて							
25 ～ 27	学習理論②行動の問題への取り組み方、いやがらせない口輪の装着トレーニングについてと実践							
28 ～ 30	安全な犬の受け渡し方法についてと実践							
31 ～ 33	トイレトレーニングについてと実践							
34 ～ 36	試験							
37 ～ 39	追試およびトレーニング総合							
成績評価方法	・出席率				定期試験			
	・実技試験（授業内）							
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている						
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	トリマーコース	
科目名	愛犬飼育管理論					必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	単位	後期	1	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1	単位
		通年	単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	富澤 彩							
	実務経験	有	家庭犬しつけインストラクター、ホリスティックケアカウンセラー、ペットフーディスト、愛玩動物救命士等を取得。出張しつけ方レッスンやオンラインでの愛犬相談、ドッグアロマケア講座等を開催。					
授業概要	①愛犬飼育管理士の認定条件を満たす為の知識。 ②犬のプロとして必要とされる知識（法律知識・犬の生態・犬種ごとの特徴など） ②お客様に寄り添った、円滑なコミュニケーションを取る為の知識。					授業形式	講義	
到達目標	動物業界で働くために必要な法律知識の理解と、「犬」という動物の生態などを正しく理解する。ご家庭ごとに合わせた適正な管理方法をご提案できる。愛犬飼育管理士の認定条件を満たす。							
教科書・教材・服装等	「愛犬飼育管理士 教本」、筆記用具							
授業計画	授業内容							
1	自己紹介・持ち物確認・評価方法説明・授業概要説明・資格取得の意義							
2～3	第3章「適正な飼育管理」							
4～5	第6章「犬学」							
6～7	第4章「適正な健康管理」							
8	第1章「動物愛護」							
9～11	第2章「動物愛護のための法律知識」							
12	第5章「犬の繁殖学」							
13～14	第7章「猫、その他の動物」「特定動物」							
15	総復習							
成績評価方法	・出席率				定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験、資格認定試験						実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率80%以上・定期試験90点以上・認定試験合格・平常点 優れている						
	B評価	出席率60%以上・定期試験80点以上・認定試験合格・平常点 普通						
	C評価	出席率50%以上・定期試験70点以上・認定試験合格・平常点 やや劣る						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	トリマーコース		
科目名	しつけ行動学					必修・選択必修の別		選択必修
実施期	1年	前期	1 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。		1 単位
		通年	単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	富澤 彩							
	実務経験	有	家庭犬しつけインストラクター、ホリスティックケアカウンセラー、ペットフーディスト、愛玩動物救命士等を取得。出張しつけ方レッスンやオンラインでの愛犬					
授業概要	①犬の飼育管理に必要な基本的な知識。 ②問題行動の予防と対策。 ③飼い主様に寄り添った、ご家庭ごとのアドバイスをご提示出来るよう現代社会における犬の育て方を学ぶ。					授業形式	講義	
到達目標	犬の習性や発達に合わせた関わり方などを正しく理解する。 飼い主様方へアドバイスするための知識、適切かつ安全に飼育管理をする為の知識の習得。							
教科書・教材・服装等	「最新研究で迫る 犬の生態学」、筆記用具							
授業計画	授業内容							
1	自己紹介・持ち物確認・評価方法説明・授業概要説明							
2	トリマーに必要とされる知識・技術とは（なぜトリマーに行動学が必要か？・飼い主様から見た犬のプロと							
3	犬の起源・オオカミとイヌの違い							
4	犬を飼う前に知っておきたいこと（犬の登録・マイクロチップ・ワクチン・外部寄生虫予防・避妊去勢な							
5	動物病院の選び方・セカンドオピニオン							
6	お散歩/トグランマナー・犬連れ旅行の持ち物と注意点							
7	ボディランゲージ（カーミングシグナル）・ストレスを感じた時の体の変化							
8	犬のライフサイクル（社会化期・若年期の重要性と、接する際に留意すべき点、シニア期の特徴）							
9	犬の五感（嗅覚、視覚、味覚、聴覚、触覚）を知り、適切な接し方を知る							
10	犬の学習の仕組みとしつけで大事なこと							
11	クレートトレーニングの重要性と基本の教え方							
12	トイレトレーニングの基本の教え方とトイレを失敗した際の対処方法							
13	問題行動へのアプローチ手順と原因究明をする際のポイント							
14	災害対策（日頃の備え・災害時に役立つしつけ・災害が起きた時の対処）							
15	定期試験範囲の説明と対策・総復習							
成績評価方法	・出席率					○	筆記試験	
	・定期試験、				定期試験		実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率80％以上・定期試験90点以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率60％以上・定期試験80点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率50％以上・定期試験70点以上・平常点 やや劣る						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	トリマーコース	
科目名	ペットサロン概論 & 商品知識					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2 単位
		通年	2 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	富澤 彩						
	実務経験	有	家庭犬しつけインストラクター、ホリスティックケアカウンセラー、ペットフードディスト、愛玩動物救命士等を取得。出張しつけ方レッスンやオンラインでの愛犬相談、ドッグアロマケア講座等を開催。				
授業概要	多種多様なペット用品に対し、その犬に合わせた適切な商品を選び適切な使い方等をアドバイスできるよう下記について学ぶ。 ①多種多様な商品のバリエーションや使用時の注意点。②商品の慣らし方や使い方、フィッティング方法。③商品を使う際の目的と、それに合わせた使い方。（プロの使い方と飼い主さま使い方の違い）					授業形式	講義
到達目標	多種多様な商品の特徴とバリエーション、使い方や慣らし方を正しくを理解する。 犬の適正飼養とQOL向上に繋がるよう、お客さまとその愛犬に合わせた商品を選び使い方の説明ができる。						
教科書・教材・服装等	筆記用具						
授業計画	授業内容						
1	持ち物確認、評価方法説明、授業概要説明						
2	首輪・胴輪の種類と選び方、フィッティングのやり方						
3	リードの種類と使用目的に合わせた選び方						
4～5	口腔ケア用品。歯周病の仕組みと歯磨きの重要性						
6	おもちゃの種類と使用目的に合わせた選び方、与え方の注意点						
7	知育玩具の重要性。種類と使用方法、与え方の注意点						
8	ご家庭で用意したいお手入れグッズ、ご家庭でお手入れをする際の注意点						
9	ドッグフードの分類と選び方、食器の選び方						
10	腸活と免疫、皮膚の関係性について。フードローテーションとアレルギーの関係性						
11	ペットアロマ（香りが体に作用する経路と影響、アロマオイルとエッセンシャルオイルの違い、使用の注意点等）						
12	洋服を着せる目的と選び方、着せる際の注意点、洋服を着せる場合のカットスタイルの考え方						
13～14	介護用品の種類と用途、ペットロス軽減のために出来ること、お客様に寄り添うことの重要性						
15	総復習レポート提出						
成績評価方法	・出席率				定期試験	○	筆記試験
	・レポート課題						実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）						実施しない
成績評価基準	A評価	出席率80％以上・レポート課題・平常点 優れている					
	B評価	出席率60％以上・レポート課題・平常点 普通					
	C評価	出席率50％以上・レポート課題・平常点 やや劣る					
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合					

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	トリマーコース		
科目名	ドッグトレーニング					必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	単位	後期	2	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	2	単位
		通年	単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	油木 真砂子							
	実務経験	有	愛玩動物看護師、優良家庭犬普及協会認定グッドシチズンテストサブジャッジ、テリントンTタッチプラクティショナー等の資格を有し、Tタッチワークショップ、しつけ教室、褒贈セミナー等日本各地で開催。訪問でのしつけ、ケアなど総合的なアドバイスをするプライベートセッションを行っている					
授業概要	犬の飼育経験がない学生も、社会に出れば経験年数に関係なく顧客からは「犬を扱うプロ」として認識される。在学中にトレーニングの基礎となる授業を展開し、その中での観察を通し、犬の行動に興味を持ち、机上での犬の扱いではない、床面での扱いや犬本来の行動などを学び、力ではなく陽性強化を用いたトレーニング方法を理解することを目的とする。					授業形式	演習	
到達目標	犬の行動観察を主とした基本的なハンドリング、生体管理、学習理論等の理解							
教科書・教材・服装等	実習着着用 各自ノート							
授業計画	授業内容							
1 ～ 3	教室出入り等授業内ルール説明と徹底（生体管理と安全管理）							
4 ～ 6	クレートからの安全な出し方、リードの持ち方、誘導の仕方							
7 ～ 9	テリントンTタッチについてと実践							
10 ～ 12	学習理論①、姿勢を作る（オスワリ、フセ、タッテ）							
13 ～ 15	安全な他犬とのかかわらせ方							
16 ～ 18	ボディランゲージとカーミングシグナルについての動画鑑賞および犬の行動観察							
19 ～ 21	お散歩トレーニングについてと実践							
22 ～ 24	クレートトレーニングについて							
25 ～ 27	学習理論②行動の問題への取り組み方、いやがらせない口輪の装着トレーニングについてと実践							
28 ～ 30	安全な犬の受け渡し方法についてと実践							
31 ～ 33	トイレトレーニングについてと実践							
34 ～ 36	試験							
37 ～ 39	追試およびトレーニング総合							
成績評価方法	・出席率				定期試験			
	・実技試験（授業内）							
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）							
成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト100点・平常点 優れている						
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト99～90点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト89～80点以上・平常点 やや劣る						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	トリマーコース		
科目名	スマートレーニング					必修・選択必修の別		必修	
実施期	1年	前期	単位	後期	1	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1	単位	
		通年	単位						
	2年	前期	単位	後期	単位				
		通年	単位						
担当講師	木村 光太								
	実務経験	有	20年以上の実務経験を活かし、犬の基礎的な知識から実際の現場で必要になる技術を伝える事で、学生のニーズに応えた指導が出来る。						
授業概要	前期学んだケネル&ラムクリップを一人で仕上げるにより、後期へのステップにし、また後期より本格的に始めるベアカットを学ぶことを目的とする。						授業形式	演習	
到達目標	モデル犬を一人で扱い、ケネル&ラムクリップを仕上げ、後期からのベアカットの確認をする								
教科書・教材・服装等	ユニフォーム/グルーミングマニュアル								
授業計画	授業内容								
1～6	ケネル&ラムクリップのモデル犬を使用し、ペイジング作業の確認								
7～12	ケネル&ラムクリップのモデル犬を使用し、1人で1頭を仕上げる								
13～18	ベアカットのモデル犬を使用し、後期からの学びを確認する								
成績評価方法	・出席率				定期試験		筆記試験		
							実技試験		
						○	実施しない		
成績評価基準	R 評価	全日程18時間の出席							
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合							

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名		トリマーコース	
科目名	グルーミング実習					必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。		16 単位
		通年	16 単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	佐藤 公一/蓮井 洋子/湯浅 翔平/伊賀 汐梨/ 川島 千夏/高野 咲菜/奥野 亜実							
	実務経験	有	サロントリマー兼経営者として20数年のキャリアがある為、学生に対して、「雇用する側」「される側」両方の目線でトリマー技術は勿論だが、サロンスタッフとしての心得や接客対応術などの指導が出来る。「JKC公認トリマーライセンス」を所持。					
授業概要	ブラッシングからシザーリングまでの作業を反復練習する事によって、確実かつスピードのある技術を身に付ける。後期は犬種によるクリッピング、シザーリングの違いについてデモを通して学び、実際に作業する事によって身に付け、理論から応用まで幅広く学ぶ。					授業形式	実習	
到達目標	前期、プードルのケネル&ラムクリップのカット知識とグルーミング技術の取得を中心に、道具の使い方や犬の扱い方等の基礎技術を学ぶ。前期終了時に評価認定試験を行い理解度を図る。またカットに対しての基礎的な知識や技術習得を前期の目標とする。 後期は、プードルのケネル&ラムクリップ以外のモデル犬（他犬種）を用いて、幅広く各犬種に対応できる知識や技術を習得する事を目標とする。							
教科書・教材・服装等	グルーミングマニュアル・ハンドリングマニュアル・最新犬種図鑑							
授業計画	授業内容							
1~12	初回授業・今後の授業の流れ							
13~18	ブラッシング・コーミング							
19~30	爪切り・耳掃除のデモ&実践							
31~36	シザーの持ち方・動かし方							
37~54	ペイジング・ドライイングのデモ&実践							
55~66	クリッピングのデモ&実践							
67~138	ケネル&ラムクリップ シザーリング部位の説明とカットデモ及び実践①							
139~150	造型							
151~192	ケネル&ラムクリップ シザーリング部位の説明とカットデモ及び実践②							
193~210	ベアカットのレクチャー							
211~246	他犬種のベイシクトリミング							
247~270	反復練習							
271~276	ケネル&ラムクリップ反復練習							
277~294	シュナウザーのトリミング部位の説明とトリミングデモ及び実践 ケネル&ラムクリップ反復練習							
295~312	シーズーのトリミング部位の説明とカットデモ及び実践 ケネル&ラム反復練習							
313~330	ボメラニアン・トリミング部位の説明とカットデモ 一般外部犬のカット							
331~348	ハンドリングについて ハンドリングの実践 プリーダー犬のトリミング							
349~384	ケネル&ラムクリップ反復練習 他犬種のトリミング反復練習 一般外部犬&プリーダー犬のトリミング							
385~414	ショークットについて セットアップデモ ケネル&ラムクリップ反復練習							
415~444	プリーダー犬のトリミング 接客対応 他犬種、ケネル&ラムクリップ反復練習							
445~468	2年に向けての学び 時間を計りスピードアップを目指した反復練習（プードル。他犬種）							
469~510	一年間の総まとめ 技術の向上 レベルアップ							
511~540	反復練習							
成績評価方法	・出席率				定期試験		筆記試験	
	・平常点（授業意欲、態度など）						実技試験	
	・技術習得度					○	実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率90%以上・平常点 優れている・技術レベル上位1/3						
	B評価	出席率70%~89%以上・平常点 普通・技術レベル 2/3						
	C評価	出席率50%~69%以上・平常点 やや劣る・技術レベル 下位1/3						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	トリマーコース	
科目名	パソコン					必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	1 単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位	
		通年	単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	中島 雅子							
	実務経験	有	MOS取得。パソコンインストラクターとしての実務経験は20年以上。					
授業概要	Windowsの基本操作を理解し、学生生活でも社会人になっても役に立つWord文書作成、及びExcel表計算の基本機能や操作方法を学ぶ。また、情報化社会を生きる上で必要とされるネット利用のマナーの習得・情報検索を一部の講義と演習を組み合わせ実施する。					授業形式	講義	
到達目標	・ Windowsの基本的な操作に慣れる。 ・ ローマ字入力による文字入力を効率的で正確に行うことができる。 ・ Microsoft WordとExcelの基本操作を理解し、実践できる。 ・ 情報モラルを守る姿勢を身に付ける。							
教科書・教材・服装等	・ 30時間アカデミック情報リテラシーOffice2016（実教出版） ・ USBメモリ							
授業計画	授業内容							
1	オリエンテーション：PC教室利用上の注意・授業内容及び評価の説明・アンケート							
	タイピング 基本トレーニング：PCの起動・ログイン方法・USBメモリの取扱い方・タイピング練習							
2	Windowsの基礎知識：IMEと日本語入力・タイピング練習							
	Word 基本1：ファイルの基本操作を覚える・効率よい入力方法・タイピング練習							
3~4	Word 基本2：効率よく入力する（様々な文字の種類・記号の入力など）							
5	Word 文書作成：編集の手順・編集作業・ページ設定など							
6	Word 表現力をアップする：画像・イラスト・図形などの挿入とレイアウト							
7	Word 表の作成：罫線とは・書式設定・レイアウト・様々な表を作ってみる							
8	Word 書式応用：書式設定を使いこなす・自由なレイアウトの文書作成・ページ設定							
9~10	Wordで学ぶ著作権：ネット社会と正しい著作権を知る							
	Word まとめ：総復習の到達度テスト実施、自由作成課題を仕上げる、著作権を考える							
11	Excel 基本1：基本操作を覚えよう・データを効率的に入力する・セルの書式設定							
12	Excel 基本2：基本操作のまとめ・印刷設定・ページレイアウトの役割を知る							
13	Excel 数式と関数：四則演算・連続データ・表示形式など							
	Excel まとめ：総復習							
成績評価方法	・ 出席率				定期試験		筆記試験	
	・ 到達度テスト						実技試験	
	・ 平常点（提出物・授業参加意欲など）					○	実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率90％以上・到達度テスト80％以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率80％以上・到達度テスト70％以上・平常点 普通						
	C評価	出席率80％以上・到達度テスト60％以上・平常点 やや劣る						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	トリマーコース	
科目名	ビジネストレーニング					必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	単位	後期	1	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1	単位
		通年	単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	松本 繁美							
	実務経験	有	コミュニケーションマナー講師として30年以上の経験を持つ。また、マナースキルの源となるホスピタリティや心の在りようにも理解を深める指導を行う。マナーが形の上に偏らない指導が出来る。					
授業概要	マナーの重要性に自らの気づき実践出来ることを念頭に、インタラクティブな講座とする。また、WhyとHowをバランス良く取り入れて進行していく。ロールプレイでは日常の立ち居振る舞い等、現場に則した内容で、即実践出来る内容とする。					授業形式	講義	
到達目標	自主的に、かつ臨機応変に対応できるマナーが実践できる。また、身につけたコミュニケーションマナーを学園や日常生活の中で自然に生かし、多くの人との出会いの中で信頼関係が築けることを目標とする。							
教科書・教材・服装等	ビジネスハンドブック・ビジネスハンドブックに基づいた講師作成のパワーポイントおよび資料							
授業計画	授業内容							
1	セルフプレゼンテーション							
2	挨拶/おじぎ							
3	言葉遣い 敬語							
4	言葉遣い 応対用語							
5	電話応対 基本							
6	電話応対 取次							
7	手紙のルール							
8	メール・SNSのルール							
9	エレベーターのマナー							
10	来客応対 席次案内							
11	総まとめ・試験対策							
12	定期試験							
14 ~ 16	就職セミナー							
成績評価方法	・出席率					○	筆記試験	
	・定期試験				定期試験		実技試験	
	・平常点（授業参加意欲など）						実施しない	
成績評価基準	A評価	出席率90％・定期試験や小テスト80点以上・平常点 優れている						
	B評価	出席率80～90％以上・定期試験75～79点以上・平常点 普通						
	C評価	出席率75％～79％以上・定期試験65点以上・平常点 やや劣る						
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名		動物飼育コース	
科目名	自己理解(&就職ガイド)					必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位	
		通年	1 単位					
	2年	前期	単位	後期	単位			
		通年	単位					
担当講師	荒井 千鶴							
	実務経験	無	学生用LIFOライセンス講座を受講					
授業概要	個人が協調しあう「社会」にできるために、まずは自分自身を知る自己理解が重要です。この自己理解がしっかりできていれば、自身の進むべき方向性が把握でき、他者との協調がよりスムーズになります。そこでこの科目では下記3点を目的とし、1年生前期で自己理解を深めます。 ①自己理解の3つの方法を身につけ、人間力の土台となる自己理解の能力と自信を高める。 ②自分の個性について、より広くより深く理解する。 ③知識、能力面を含めて自分自身に自信を持って語るための自己分析シートを作成する。					授業形式	講義	
到達目標	自分の強みを知り、学生生活や人間関係、将来の仕事などで役に立つ「自分だけの必勝法」を見つけます。具体的に授業を通して以下のようなことができるようになります。 ・友人や苦手な人との付き合い方が分かり、人間関係がスムーズになります。 ・自分の長所が自己分析でき、就職活動やアルバイトの面接などに役立ちます。 ・勉強や自己啓発のより良いやり方・進め方がわかり、今までよりも成果が上がります。							
教科書・教材・服装等	LIFOテキスト（㈱ピーコンラーニングサービス）2,160円 個人レポート（㈱ピーコンラーニングサービス）540円 質問紙（㈱ピーコンラーニングサービス）1,080円							
授業計画	授業内容							
1	自己理解とは・自己理解の大切さと難しさの理解							
2	ライフライン・自分自身をより深く理解する							
3	LIFO診断							
4	LIFOスタイル・LIFOの基本的考え方の理解							
5	強みの確認①							
6	強みの確認②							
7	強みの確認③							
8	他者からの指摘（ポジティブシャワー）							
9	自分の強みを確認する④							
10	就職室の紹介							
11	『Google classroom』運用と使用方法の説明（誓約書回収）							
12	業界インターンシップについて							
13	就職セミナーについて							
14	企業研究の仕方							
15	強みの使い過ぎの確認							
16	強みの拡張							
17	自己分析シートの完成							
18	福利厚生・社会保険について							
19	身だしなみ指導・インターンシップに向けて							
20	企業説明会							
21	ESの作成指導							
22	自己PRの基本構築と作成							
23	電話のかけ方・インターンシップ事前準備							
24	志望動機の基本構築							
25	インターンシップ準備、企業説明会							
26	課題レポートの作成							
成績評価方法	・出席率				定期試験		筆記試験	
	・課題提出（自己分析シート、ライフライン）						実技試験	
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）					○	実施しない	
成績評価基準	R評価	出席率80％以上・課題提出・平常点 優れている						
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合						

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科				コース名	トリマーコース	
科目名	コミュニケーション					必修・選択必修の別	必修
実施期	1年	前期	単位	後期	単位	授業単位合計 ※授業50分を1時間とする。	1 単位
		通年	1 単位				
	2年	前期	単位	後期	単位		
		通年	単位				
担当講師	木村 光太						
	実務経験	無					
授業概要	社会人として必要な知識やコミュニケーション能力を学校生活を通じて会得していく。					授業形式	講義
到達目標	社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーション能力を身に付ける。						
教科書・教材・服装等	無し						
授業計画	授業内容						
1	学校生活について①						
2・3	挨拶と返事の仕方、お辞儀の仕方や身だしなみ						
4～6	専門学校生としての心構え、学校生活における目標設定						
7～8	学校行事についてのディスカッション①						
9～10	学校行事についてのディスカッション②						
11～12	各種連絡事項						
13～14	各種連絡事項						
15	夏休みの過ごし方について						
16～17	夏休みの振り返りと共有						
18～21	学校行事についてのディスカッション③						
22～23	学校生活について②						
24～25	学園祭の振り返り						
26～28	春休みの過ごし方について						
29	2年生の心構え						
30	インターンシップへの心構え						
成績評価方法	・出席率				定期試験		筆記試験
	・平常点（授業態度・授業参加意欲など）						実技試験
						○	実施しない
成績評価基準	R評価	出席率50%以上・平常点などを加味し総体的に判断					
	F評価	R評価の基準を満たしていない場合					